



日本の成長を支えるエンジンに

総務省消防庁予防課課長補佐

桑折 恭平 KORI Kyohi

平成 25年 4月 総務省自治行政局地域政策課
8月 奈良県観光局国際観光課
平成 26年 4月 同 総務部財政課
平成 27年 4月 総務省自治行政局地域政策課地域情報政策室
平成 29年 7月 同 自治行政局市町村課
平成 30年 4月 岡山県玉野市政策財政部部長
令和 2年 4月 地方公共団体金融機構経営企画部企画課調査役
9月 現職

携わった経験を活かして取組を進めています。業務経験が互いにつながると仕事が楽しくなります。

父として

私の家庭は夫婦共働きのため子どもを保育園に預けています。私が朝の登園を担当しつつ、日によっては定時退庁してお迎えに行くこともあり、職場の皆さんにご理解とご協力をいただきながら仕事と家庭の両立を目指しています。いたずら好きの子どもに振り回されてばかりではありませんが、「なんでなの?」と聞かれてハッと気づかされることもあり、大変ながらも楽しい日々です。

社会のコストか成長のエンジンか

これは過去の上司に言われた言葉です。後ろ向きに対応して社会のお荷物となるのか、前向きに対応して国の経済を動かす成長のエンジンとなるのか、君はどちらを選ぶのか。やや極端な二者択一かもしれませんが、要するに何事もチャンスを捉えて前向きに進めと励まされたのでした。多忙な仕事環境において、ともしれば守りに入りがちになっていた自分の目を覚ましてくれたこの言葉を思い出し、官民を通じた生産性向上のためデジタル化の取組など

にも果敢に取り組んでいます。皆さんも総務省で一緒に日本の成長を支えるエンジンになりませんか。



現地派遣された熱海の土石流現場において(筆者右)



玉野市を訪れた同期と

国民の安全安心を守る

私が仕事をしている消防庁予防課は、消火器やスプリンクラー、自動火災報知設備などの消防用設備等の設置維持について定める消防法令の担当課です。日々発生する火災を未然に防ぐのがその役割ですが、内容はかなり専門的であり、全国各地の消防本部の方々から運用の実態も伺いつつ、望ましい規制のあり方を考え続けています。主担当は火災予防ですが、災害発生時には消防庁の災害対策本部において被害報の作成を行ったり、連絡要員として現地に派遣されたりすることもあります。消防は住民の安全安心に直接的につながっている分、やりがいも一際大きいというのが実感です。

避けて通れぬデジタル化

今、消防行政においてもデジタル化の波が押し寄せています。防火管理者の選任届出や各種点検の報告など、消防本部や消防署に対する事業者の手続はこれまで主に紙ベースで行われており、電子申請の導入が急務ですが、自治行政局で地方公共団体の業務システムに関する仕事をしてきた経験や、以前赴任していた玉野市で消防本部の施設再編に

法令をつくるということ

私の所属している自治行政局選挙部選挙課は、公職選挙法などの法令を所管し、その改正作業を行ったり、解釈を示したりすることを主な業務にしています。

令和3年には、「特定患者等の郵便等を用いて行う投票方法の特例に関する法律施行令」を制定しました。これは、新型コロナウイルス感染症の患者で宿泊療養・自宅療養されている方等(投票所へ行くのが事実上困難な方)が行う、郵便等を用いて行う投票(特例郵便等投票)について、その手続を整備したものです。

選挙制度は民主主義の根幹を支えるものですから、可能な限り投票の機会を確保する一方、不正も排除しないとはいけません。現に、郵便等による投票は、選挙の公正確保の観点から、身体に重度の障害がある方等に、あくまで限定的に認められているところです。

特例郵便等投票はこれとは異なる新たな投票類型ですが、その手続の整備に当たり、いかに選挙の公正を確保しつつ患者の方の投票の機会を確保していくかということ、上司と毎日議論し、法令に落

とし込んでいく作業は、とてもエキサイティングなものでした。

制定作業後すぐに東京都議会議員選挙があり、私の家にも区から選挙公報が届きましたが、そこには「特例郵便等投票ができるようになりました」の文字が大きく記載されていました。

自分の霞が関での仕事が、一人の住民としての自身のくらしに関わってくるということは、大変嬉しいものです。総務省は「くらしの中に総務省」というキャッチフレーズを掲げていますが、その実感を噛みしめることができた瞬間でした。

くらしを支える

「恩返し」。それが、国家公務員として働いていく上での私のテーマです。それは家族に対してであり、友人に対してであり、自分の人生で関わってきた人たち全員に対してです。

逆に言えば、その人たちに対して広くアプローチできる職業は何かということを考え、国家公務員という職業を選んだように記憶しています。

総務省の仕事は、くらしの根幹(選挙というアプローチからは民主主義になります)を支えるものです。仕事を通してその人たちのくらしを支えていく、

遠回しにでも恩返しができるということは、なかなか素敵なことではないでしょうか。



同期と沖縄旅行!



鹿児島赴任最終日。課のみんなが空港まで見送りに来てくれました。



民主主義の礎を担う

総務省自治行政局選挙部選挙課
調査係長

中川 航輔 NAKAGAWA Kosuke

平成 29年 4月 総務省自治行政局選挙部選挙課
8月 鹿児島県総務部財政課
平成 30年 7月 内閣府本府地方分権改革推進室
令和 2年 7月 同 自治行政局選挙部選挙課
令和 3年 7月 現職